【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和5年10月24日(2023.10.24)

【公開番号】特開2023-78155(P2023-78155A)
【公開日】令和5年6月6日(2023.6.6)
【年通号数】公開公報(特許)2023-104
【出願番号】特願2023-27952(P2023-27952)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/22(2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/22
Ａ６１Ｋ 45/00

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月16日(2023.10.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のコンパートメントおよび第２のコンパートメントと、
第１のコンパートメントに含まれている第１の薬物内容物および第２のコンパートメントに含まれている第２の薬物内容物と
を含む剤形であって、
前記第１のコンパートメントが第１の壁で包囲されており、前記第２のコンパートメントが第２の壁で包囲されており、前記第１の壁が前記第２の壁より薄い、剤形。
【請求項２】
前記第１の壁が前記第２の壁より透過性が高い、請求項１に記載の剤形。
【請求項３】
前記第１の壁が前記第２の壁より速く浸食される、請求項１に記載の剤形。
【請求項４】
前記第１の薬物内容物が、前記第２の薬物内容物と異なる、請求項１に記載の剤形。
【請求項５】
前記第１のコンポーネントおよび前記第２のコンポーネントが、溶解性材料で作製された基剤で形成されている、請求項１に記載の剤形。
【請求項６】
前記剤形がカプセル形状であり、前記第１のコンパートメントおよび前記第２のコンパートメントが接続されていない、請求項１に記載の剤形。
【請求項７】
第１のコンパートメントおよび第２のコンパートメントを形成する基材と、
前記第１のコンパートメントに含まれている第１の薬物内容物および前記第２のコンパートメントに含まれている第２の薬物内容物と
を含む経口薬剤形の、三次元（３Ｄ）プリンティング方法であって、
前記第１のコンパートメントは第１の壁で包囲されており、前記第２のコンパートメントは第２の壁で包囲されているおり、前記第１の壁は前記第２の壁より薄く、
（ａ）溶融した前記基材を平面の表面に押し出し被着させることにより、前記第１のコン

パートメントおよび前記第２のコンパートメントを作製すること、
（ｂ）前記第１の薬物内容物および前記第２の薬物内容物の溶融混合物を平面の表面に押し出し被着させることにより、前記第１の薬物内容物および前記第２の薬物内容物を作製すること、
それにより３Ｄプリントされた経口薬剤形を得ること
を含む、方法。
【請求項８】
前記第１の壁が前記第２の壁より透過性が高い、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記第１の壁が前記第２の壁より速く浸食される、請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
前記第１の薬物内容物が、前記第２の薬物内容物と異なる、請求項７に記載の方法。
【請求項１１】
前記基材が溶解性材料で作製されている、請求項７に記載の方法。
【請求項１２】
前記剤形がカプセル形状であり、前記第１のコンパートメントおよび前記第２のコンパートメントが接続されていない、請求項７に記載の方法。